

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2016年 6月 28日

枚方市長 殿



提出者

住 所 大阪府枚方市大峰元町1-1-1

氏 名 フランスベッド（株）枚方S.C. 小林伸二

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072（897）7711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フランスベッド(株) 枚方サービスセンター
事業場の所在地	大阪府枚方市大峰元町1-1-1
計画期間	平成28年4月1日より平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	70 物品賃貸業
②事業の規模	福祉用具商品保有台数 8,000点
③従業員数	社員 6名 パート社員 19名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	再利用部品・廃棄物・有価物との分別作業 ↓ 運搬・処分共に優良認定処理業者ホームケルン（株）に委託にて処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 福祉用具レンタル品メンテナンス時、再使用不可能商品を選別/分解 (メンテナンスパート員)
 ↓
 選別された商品をリスト化し、本社に廃却申請 (センター長)
 ↓
 廃却申請承認 (本社・管理本部長)
 ↓
 運搬受託・処分受託者 ホームケルン (株) にて廃却処分

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】			①現状				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	木くず				
	排 出 量	237 t	873 t	124 t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ①有価物と再利用可能部品と廃却物との分別・分解 ②マットレス洗浄機導入により汚損マットレスの廃却数軽減 ③27年度に於いては、社内整理の為に、不要物の処分を大量に行った為廃却物の排出が過多となりました。							
②計画	【目標】			②計画				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	木くず				
	排 出 量	220 t	620 t	85 t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状取組以上に細かく分別・分解を行い廃却の軽減を図って参ります。							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	①金属と廃プラの分別 電動ベッド・車椅子・歩行器・マット等の金属・ゴム・プラスチック部・布地の分解と、再利用可能部品との分別を行っております。							
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	現状取組以上に細かく分別・分解を行い廃却の軽減を図って参ります。							

抑制に関する事項

1	1	1	1

1	1	1	1

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(これまでに実施した取組)										
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類										
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)										
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)											

の再生利用に関する事項

1	1	1	1

1	1	1	1

の中間処理に関する事項

1	1	1	1
1	1	1	1

1	1	1	1
1	1	1	1

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類										
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量										
	(これまでに実施した取組)										
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類										
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量										
	(今後実施する予定の取組)										
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				産業廃棄物の処理の委託に関する事項				産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 27 年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	木くず							
	全処理委託量	237 t	873 t	124 t							
	優良認定処理業者への処理委託量	237 t	873 t	124 t							
	再生利用業者への処理委託量										
	認定熱回収業者への処理委託量										
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
	(これまでに実施した取組) ①金属製品の分解を行い、廃棄物と再利用部品と有価物の分別を行い、有価物を売却処理 ②プラスチック・木くずの細分化を図る ③優良認定処理業者 ホームケルン（株）にて廃却処分										

の埋立処分又は海洋投入処分に係る事項

1	1	1	1

1	1	1	1

委託に係る事項

1	1	1	1
1	1	1	1
1	1	1	1
1	1	1	1
1	1	1	1

②計画	【目標】			②計画				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	木くず				
	全処理委託量	220 t	620 t	85 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	220 t	620 t	85 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組) ①現状以上に金属製品を細かく分別後、有価物との選別処理を行います。 ②現状以上に、細かくプラスチック・木くずの細分化を行います。 ③現状通り、優良認定処理業者 ホームケルン（株）にて廃却処分							

[illegible]

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。